



焼板工作

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 活動の思い出となる手づくりの記念品を作り上げることができます。

2 活動の概要

乾燥した杉板材を焚き火で焼き上げ、たわしで磨き、素朴な木工品を作る活動です。布で更に磨いた後、絵の具で文字や絵を描き、思い出の作品を作ります。

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校5年生以上
- (3) 期間 4月～11月
- (4) 時間 2～3時間（説明30分+活動90～150分）
- (5) 場所 キャンプセンター
- (6) 経費 125円／1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行う。



<作品例>




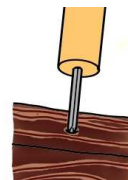
3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗拭きタオル、軍手、布きれ、作品を入れるビニール袋、汚れてもいい服装
自然の家	材 料：杉板、ヒートン（2個）、ひも、絵の具 用 具：火ばさみ、亀の子たわし、絵筆、筆洗いバケツ、パレット、パレット洗いたわし、キリ、ゴミ箱 その他：薪、着火剤、ライター

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
かまど担当者	数名。かまどの火の管理及び製作補助を行う。
用具担当者	1～2名。用具の配付、管理及び製作補助を行う。

5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明 服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手・汗ふきタオル）について説明
活 動	<p>① 杉板を焼く。 表裏面、側面まで焼き上がったら火ばさみではさんだまま、たわしがけの場所まで移動する。</p> <p>② たわしで木目にそってこすり、ススをおとす。 ※側面や板のくぼみもていねいにこする。</p> <p>③ 古布でみがいてつやを出す。</p> <p>④ ヒートン・ひもをつける。 ※ヒートンが入らないときは 錐で小さく穴を開け、その穴 に入れる。</p> <p>⑤ 絵の具で絵や文字をかく。 ※絵の具は水でうすめず、使用する。</p>     <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>※穴が大きすぎると、ヒートンが空回りしてすぐ取れてしまう。</p> </div>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ 絵筆やパレット等は絵の具を落とし、水気をふき取って返却する。

6 実施上の留意点

- 活動時間の設定は移動時間を加味した余裕のあるものとする。（自然の家からキャンプセンターまで徒歩約10分）
- 火を使う活動では、化学繊維やナイロン製品を着用している場合、火の粉により穴が開く可能性があるため、着衣を検討する必要がある。
- 低、中学年が実施する場合は大人がつくことが望ましい。

7 安全に実施するためのポイント

- 火や焼けた板を扱うときは、やけど防止のため、肌を露出しないように注意する。（長袖・長ズボン・帽子・軍手・汗ふきタオルの着用など。）
- 移動時は「焼板通ります。」と周囲に声がけし、やけどを防止する。
- かまどの周りに用具や薪を散乱させておかないように注意する。

